

原のりひこ

みんなの声を市政に届けます！

発行所：トヨタ自動車労働組合
発行人：飯田　智士
印刷所：㈱トヨタエンタプライズ

公式サイト　公式LINE　SNS

NORIHIKO_HARA2019

くらしの相談活動　くらしの相談でいただいたお声をご紹介します！

【相談】
JR岡崎駅東口付近を歩行中、喫煙所から煙が流れてくるため、非常に不快な思いをしております。岡崎市における現在の受動喫煙対策はどのような状況にあるのでしょうか。
また、JR岡崎駅東口の喫煙所を含め、駅周辺の公共喫煙所に対するパーテーション設置などの物理的な環境整備（ハード対策）を進めていただきたいと考えております。





今回 いただいたご意見やご要望を、岡崎市議会 ９月定例会の一般質問にて取り上げさせていただきました。



受動喫煙防止策について **駅周辺の喫煙環境の改善を！**

健康増進法の改正により屋内での受動喫煙対策が進む一方で、屋外の受動喫煙対策が必要と考えています。

東岡崎駅南口やJR岡崎駅東口の非密閉式**喫煙所から煙が漏れて、駅利用者やバス待ちの方へ直接流れている現状を指摘**しました。

ＪＲ岡崎駅・東岡崎駅の喫煙所における、ハード面での抜本的な対策と継続的な啓発を要望！

これに対し市からは、用地の確保や多額の費用といった課題があるため、即時の実現は難しいとの回答がありました。当面の対応として、貼り紙やチラシを活用したマナー啓発や巡回監視を実施し、非喫煙者との相互理解に努めるとともに、抜本的対策についても引き続き研究していくとの答弁を得ましたが、

現状の対応にとどまることなく、環境の改善に向けて、今後も粘り強く要望を続けてまいります。

その他 議会・地域貢献・要望・研鑽等 さまざまな活動を行っています



山口たけし愛知県議会議員とともに、地域の盆踊り大会に参加


トヨタ労組 期初研修でのご挨拶



アジパラ競技大会へのボランティア参加！

岡崎市議会 令和8年 9月定例会 のハイライトをご紹介します！

物価高騰対策から次世代への投資を進める重要な議案や補正予算が審議され全32議案可決成立

子育て世帯に負担、延長保育料「一律1，000円引き上げ」

区分		現行 延長保育時間	現行 月額	改定後 月額
保育短時間（8:00-16:00）	延長A	8:00-17:30	1,000円	2,000円
	延長B	7:00-18:00	2,000円	3,000円
	延長C	7:00-19:00	3,000円	4,000円
保育標準時間（7:00-18:00）	延長D	7:00-19:00	1,000円	2,000円

現在の延長保育料は平成２７年度の設定以来１０年間据え置かれてきましたが、人件費等の運営コスト上昇に伴い、サービス費用に対する利用者負担割合は１５．４％から８．１％へと低下していました。安定した保育体制を維持するための適正化措置となります。

また、単なる負担増ではなく、早朝や夕方の保育士を安定して確保し、希望するすべてのお子さんを安全に受け入れ続けるための決断となります。改定で生じる増収分は、全額が現場の保育士人件費や受け入れ体制の充実に直接充当されます。

原の意見

子育て世帯の負担に配慮し、令和９年４月の施行に向けて保護者の皆さまへ丁寧な事前周知を徹底するよう強く要望し、賛成しました。

脱炭素の応援！次世代エコカー購入補助拡充

ゼロカーボンシティの実現に向けた環境負荷低減と、物価高騰下における市民・事業者のエネルギーコスト負担軽減を図るため、省エネ設備や次世代自動車の導入費用を補助するものです。

補助額を１台あたり最大４５万円に引き上げ継続・支援し、移動の脱炭素化と経済支援を両立します



【対象】
市民、市内事業者
一人（一法人）当たり１台
【補助額】
次世代自動車（ＥＶ、ＰＨＥＶ）４５万円／台
【申請（予定）期間】
令和８年１０月１日～
令和９年２月上旬

リニューアルする南公園 令和9年4月3日（予定）

■ 南公園 有料遊具の使用料・利用料金（予定）一覧

区分・券種	利用料金（一人）	対象遊具・主な特徴	備考・変更点
屋外遊具１日利用券	６００円	屋外遊具８種類が乗り放題（ゴーカート、子供汽車、サイクルモノレール、てんとう虫、メリーゴーランド、観覧車、リスコプター、ティーカップ）	リストバンド装着で入場
ゴーカート	５０円	2人乗り電気自動車（EV）	
その他屋外遊具	閉園前と同額	観覧車、子供汽車などの単券利用	
小型自動遊具・動物型乗物遊具	閉園前と同額	現金（硬貨）直接投入式の3種類	
マルチパス	検討中	屋外遊具1日券＋民間屋内遊戯施設	

■ 乗り放題「１日券」導入と利便性向上！

再整備が進む南公園の有料遊具施設について、使用料や利用運用方法を定める条例改正が行われました。見直しでは、これまで市民の皆様に親しまれてきた「利用しやすさ」を第一に考え、観覧車などの既存遊具の使用料は閉園前の金額をそのまま維持します。さらに新たな取り組みとして、屋外遊具８種類が１日乗り放題になる「１日利用券（６００円）」を新設します。これまで遊具ごとにチケットを購入していた手間がなくなり、ご家族で１日中お得に楽しんでいただけます。

乗物券の購入には新たにクレジットカードやQRコード決済、交通系ICカードを導入します。